

銅賞

水のひみつ、大発見

阿部 眞子

小郡市立 のぞみヶ丘小学校

わたしは、水についての学校のじゅ業や、社会科見学で宝満川浄化センターに行つて、実際に水をきれいに行っているところを見せてもらいました。その中でわたしは、「水のひみつ」を発見しました。発見したことをまとめながら、伝えていきたいと思っています。

わたしの発見したひみつは、三つあります。
一つ目のひみつは、かっせいくん活動についてです。かっせいくんは、目では見えないとても小さな生物です。最初は、何の役に立つかあまり分からなかったけれど、調べてみたら、水のごれを食べべてくれる、地球にやさしい生き物だと知ってびっくりしました。かっせいくんは、わたし達がよごした水を、きれいにしてくれているのです。だからこそまた、くり返しきれいな水が使えるのだと思いました。

二つ目のひみつは、ダムの働きについてです。ダムは、大雨の時に水をためたり、発電やかんがいのために川をせき止めたりして、水をたくわえる場所です。ダムの多くは、山の上にあります。例えば、わたしの家の近くには、山神ダムがあります。くわしく調べてみると、この山神ダムは、十一億三千万リットルの水を山の中のダムにためて、使えるようにしているそうです。ダムの目的には、「量を調整する」「活用する」「発電に使う」の三つがあります。このうち二つ以上の目的で使われるダムを、多目的ダムといいます。わたしは、山神

ダムに、十一億三千万リットルもためられることを初めて知って、びっくりしました。ダムがあるおかげで、わたし達は毎日水が使えるのだと思いました。

三つ目のひみつは、水のじゅんかんについてです。じゅんかんとは、一周して元にもどつてくることです。地球上の水は、海や陸からじょう発し、雲から雨や雪となつて、地上にふります。浄水場できれいになった水を、わたし達が使い、さらに使った水を浄化センターできれいにして、川や海に流しています。わたしは、よごれた水は、そのまま流していると思つたけれど、きれいにしてくれる人がいるからくり返し水が使えることを初めて知りました。

最後に、去年の自由研究のことを伝えます。わたしは、三年生の夏休みに一日で使う水の量を調べて、一人で約二百八十六リットル使っていることが分かりました。一日で、多くの水を使っていると気づき、水を出しっぱなしにしないように、節水を家族によびかけています。

わたしは、学校や自由研究、宝満川浄化センターで水の学習をしながら、水のひみつについて少しくわしくなれました。家や学校で水を使いすぎると、水をきれいにするかっせいくんや、わたし達に水について教えてくれた、宝満川浄化センターの人達のお仕事も大変になると思います。みんなで、大切な水のひみつを考えて、節水の取り組みをいつまでもつづけていきたいです。